2027年2月期 第1四半期
決算説明資料

（証券コード：2698）
https://www.cando-web.co.jp

2026年7月9日

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

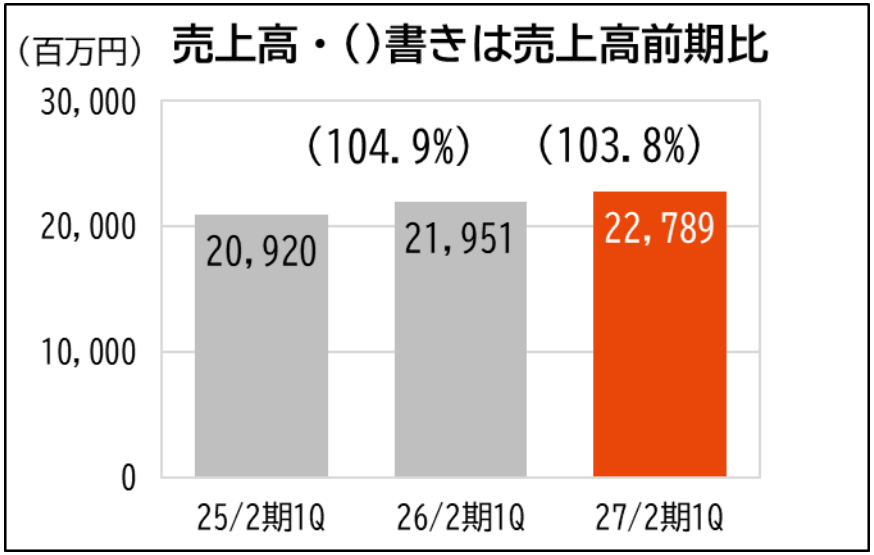
連結損益計算書 前期対比

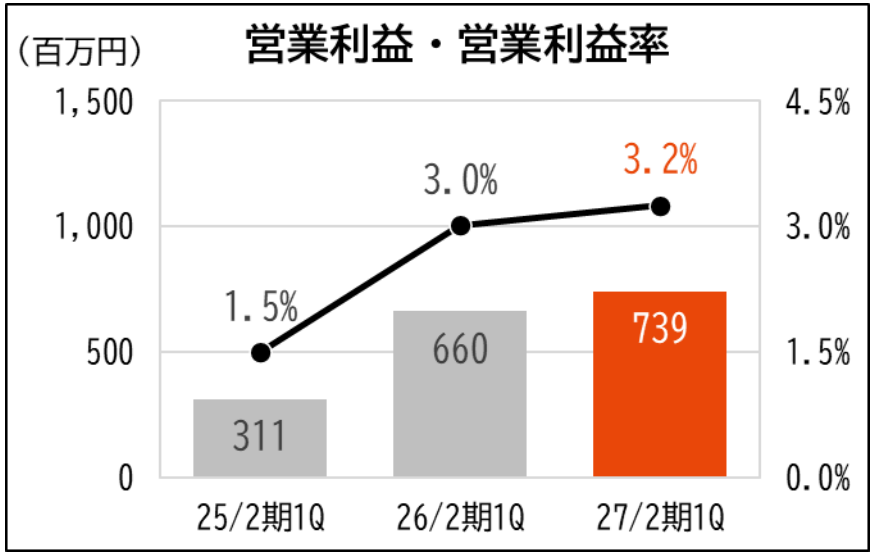
- 売上高は、前期に対し、837百万円の増収
- 各段階利益は、前期に対し、増益を確保

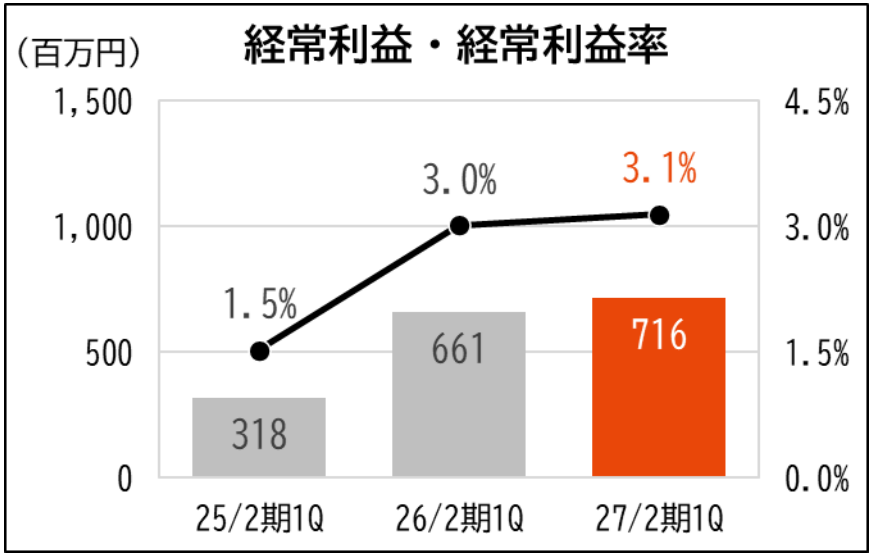
（単位 ： 百万円）	当期1Q実績	前期1Q実績	前年同期比	前年同期差
売上高	22,789	21,951	103.8%	837
営業利益	739	660	112.0%	79
経常利益	716	661	108.3%	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	402	362	111.1%	40
一株当たり四半期純利益	25.16円	22.66円	111.0%	2.50円

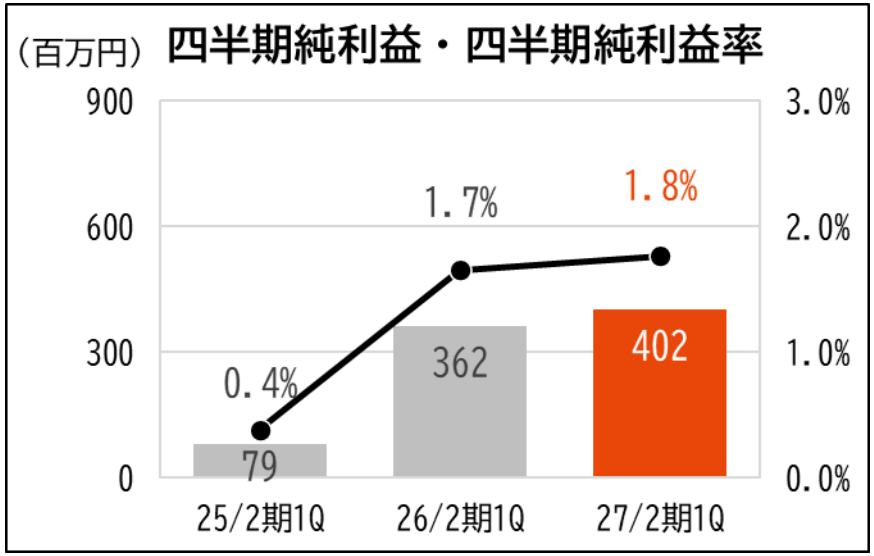
© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

連結損益計算書 年次推移









© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

連結貸借対照表

- 資産は、現金・預金303百万円、未収入金763百万円の増加
- 負債は、買掛金453百万円、電子記録債務562百万円の増加

（単位　：　百万円）	当期1Q実績	前期末実績	前期末比	前期末差
資産	34,084	32,993	103.3%	1,090
負債	23,321	22,459	103.8%	861
純資産	10,762	10,533	102.2%	228
自己資本比率	31.6%	31.9%	―	▲ 0.4%
一株当たり純資産	672円61銭	658円31銭	102.2%	14円30銭

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

連結貸借対照表 資産の部 概況

（単位 ： 百万円）

	当期1Q実績	前期末実績	対前期末増減差
流動資産	19,616	18,665	950
現金及び預金	4,945	4,641	303
売上債権・未収入金	5,937	5,058	878
商品	8,096	8,180	▲ 83
その他流動資産	636	783	▲ 147
固定資産	14,468	14,328	139
有形固定資産	7,383	7,233	149
無形固定資産	420	412	7
投資その他の資産	6,664	6,682	▲ 18
資産合計	34,084	32,993	1,090

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

連結貸借対照表 負債・純資産の部 概況

（単位 ： 百万円）

	当期1Q実績	前期末実績	対前期末増減差
流動負債	18,390	17,422	967
仕入債務	11,468	10,451	1,016
その他流動負債	6,922	6,971	▲ 49
固定負債	4,931	5,036	▲ 105
負債合計	23,321	22,459	861
資本金	3,028	3,028	0
資本剰余金	3,138	3,138	0
利益剰余金	5,571	5,304	266
その他純資産	▲ 974	▲ 936	▲ 37
純資産合計	10,762	10,533	228
負債・純資産合計	34,084	32,993	1,090

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

設備投資

- 「ﾗｲﾌｽﾀｲﾙ提案型ｼｮｯﾌﾟ（New Can★Do）」ﾌｫｰﾏｯﾄによる出店推進も、直営店の出店数が減少したため、前期に比べ店舗設備投資額は大幅に減少
- 生産性向上を目的としたｾﾙﾌﾚｼﾞ導入を含むﾃﾞｼﾞﾀﾙ投資額が大幅に増加

連結 （単位 ： 百万円）	当期1Q実績	前期1Q実績	前年同期比	前年同期差
設備投資	479	545	88.0%	▲ 65
・店舗	252	513	49.1%	▲ 261
・ﾃﾞｼﾞﾀﾙ	227	31	728.4%	196
減価償却費	285	267	106.6%	17

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

在庫回転

- 売上高の伸長により売上原価が伸びた一方で、商品在庫適正化を推進し、在庫回転率は前期より0.69改善

連結 （単位 ： 百万円）	当期1Q実績	前期1Q実績	前年同期比	前年同期差
在庫回転率 (=(①/④)×4)	6.91	6.23	111.0%	0.69
①期間売上原価	14,061	13,480	104.3%	580
②期首在庫	8,180	8,449	96.8%	▲ 268
③期末在庫	8,096	8,874	91.2%	▲ 777
④期間平均在庫 (②と③の平均)	8,138	8,661	94.0%	▲ 523

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

連結損益計算書の概況

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

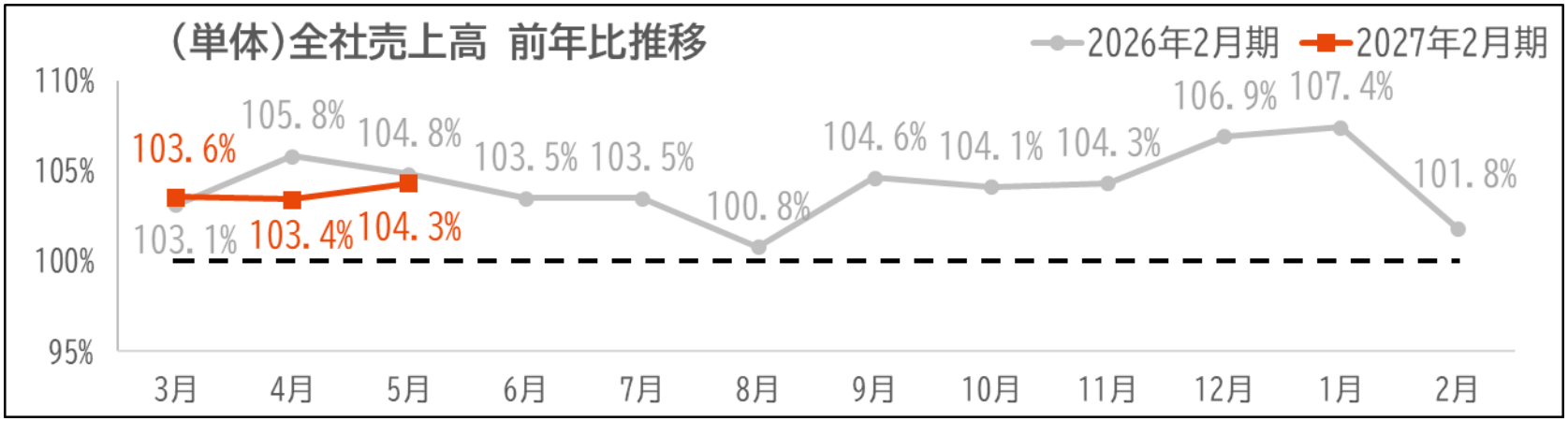
経営環境総括・トピックス

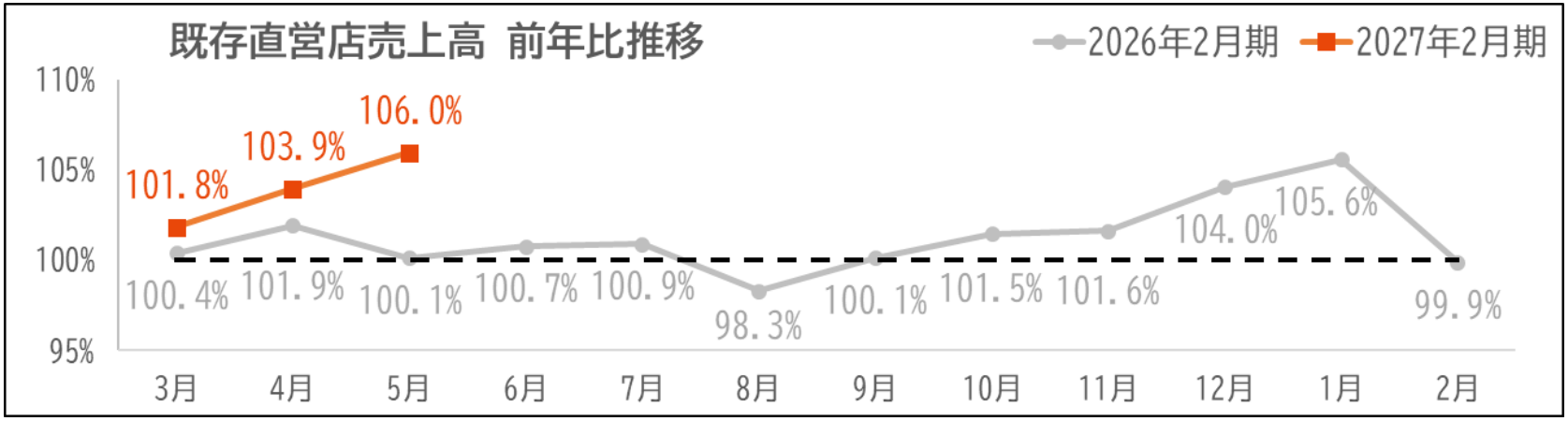
	プラス与件	マイナス与件
当 社	・節約志向による当社既存店売上高の増加 ・他価格帯商品のニーズ上昇 ・シールやキャラクター、平成レトロなどのブーム ・豪雨・気温の乱高下など異常気象への関心及び防災意識の高まり	・人員確保の難度上昇 ・インフレなどによる原材料等の高騰 ・地政学的リスク

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

売上高

- (単体)全社売上高 前年比：1Q(3～5月)103.8%
- 既存直営店売上高 前年比：1Q(3～5月)103.9%

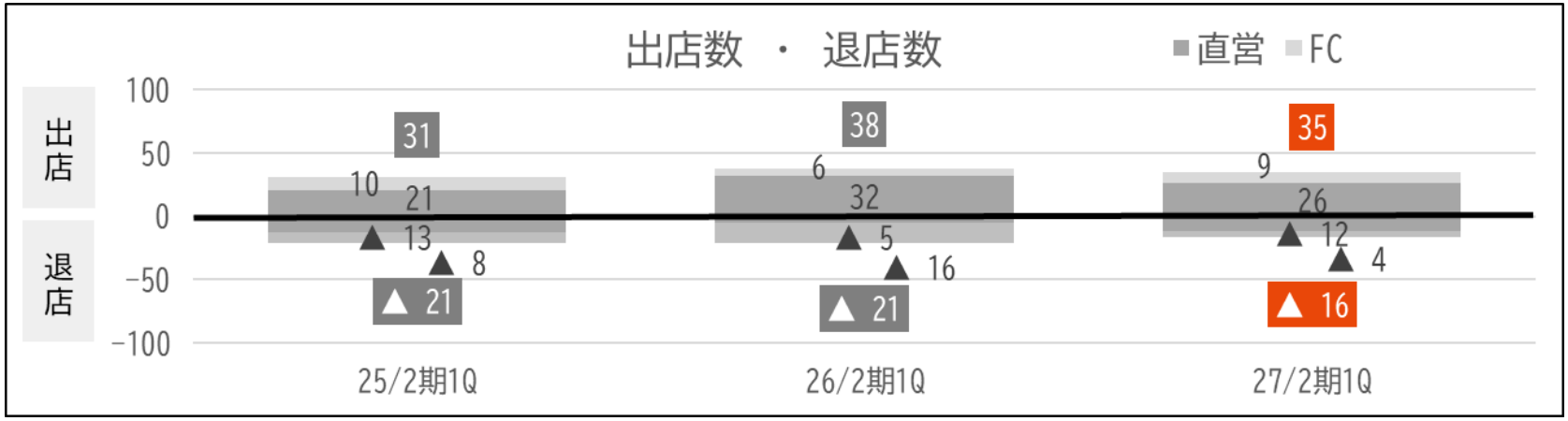


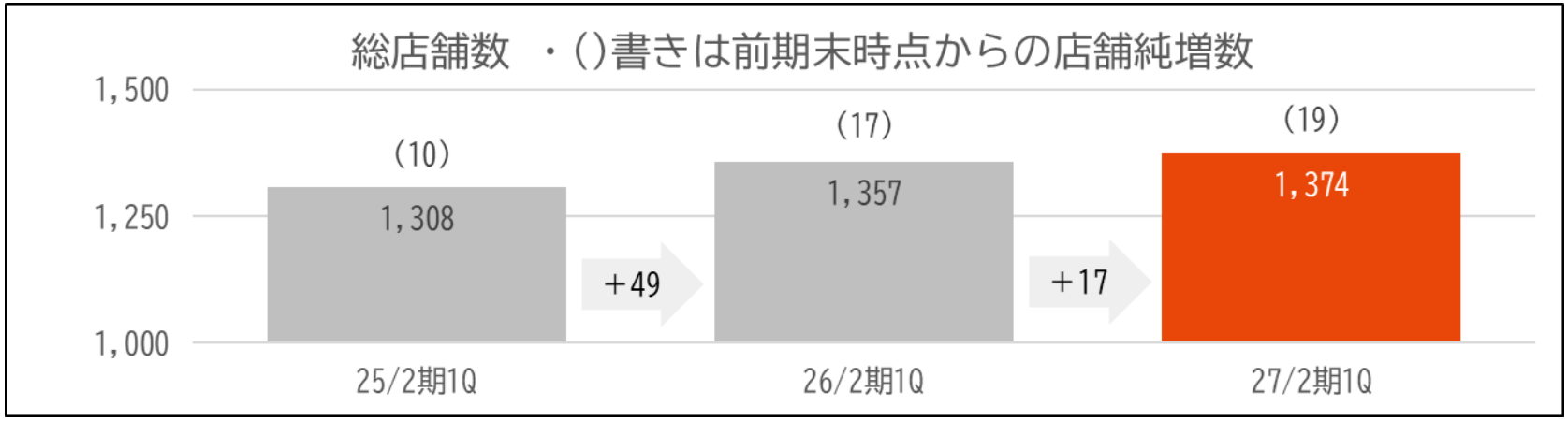


© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

店舗数

- 出店：1Q(3～5月)35店舗(通期計画85店舗)
- 退店：1Q(3～5月)16店舗(通期計画45店舗)

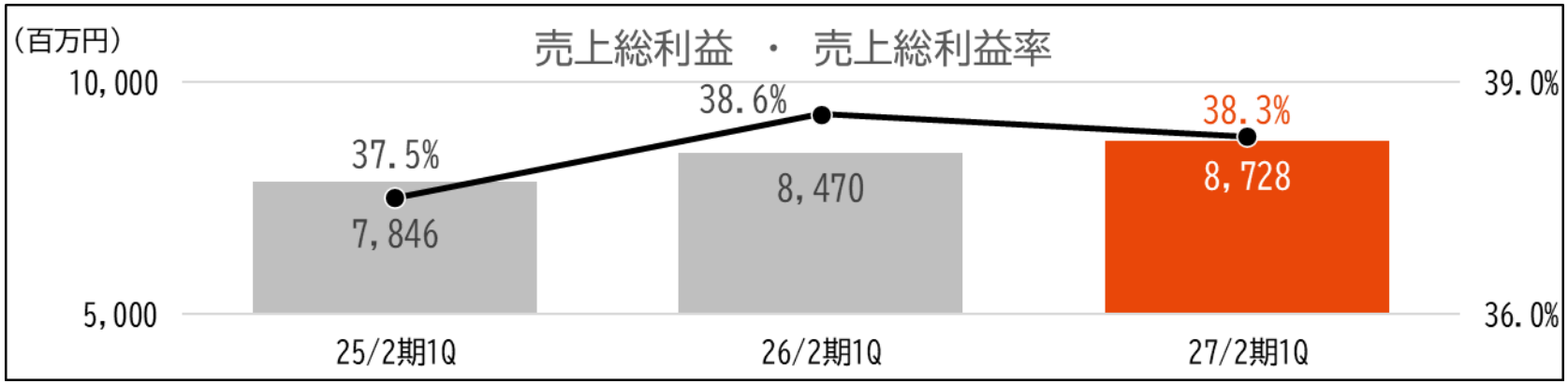


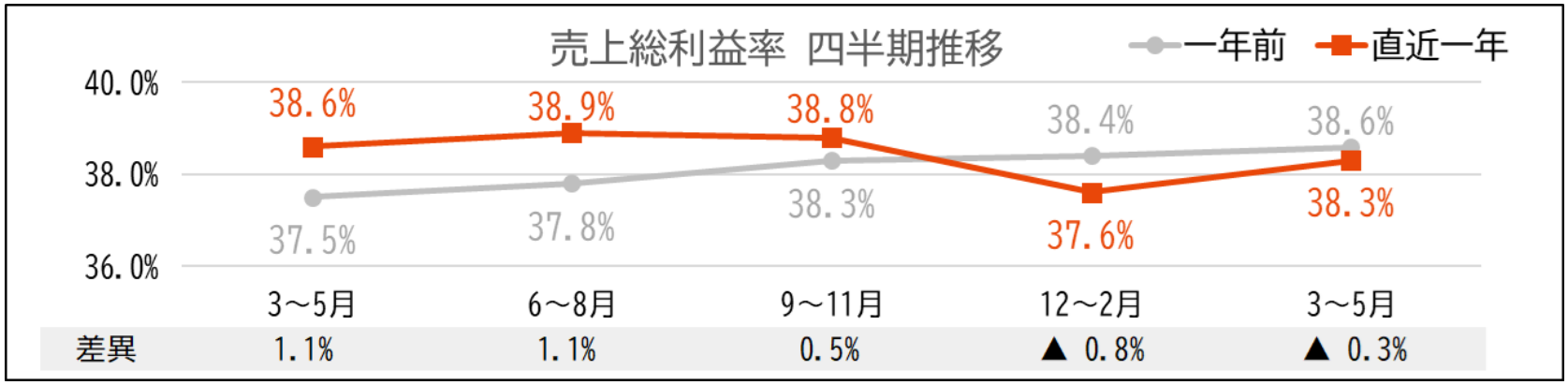


© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

売上総利益

- 売上総利益：売上高の伸長に伴い、売上総利益も増加
- 売上総利益率：100円商品と他価格帯商品の構成比見直しに伴い減少
- 2026年2月期4Qで、積極的な商品入替を目的にした商品廃棄を実施

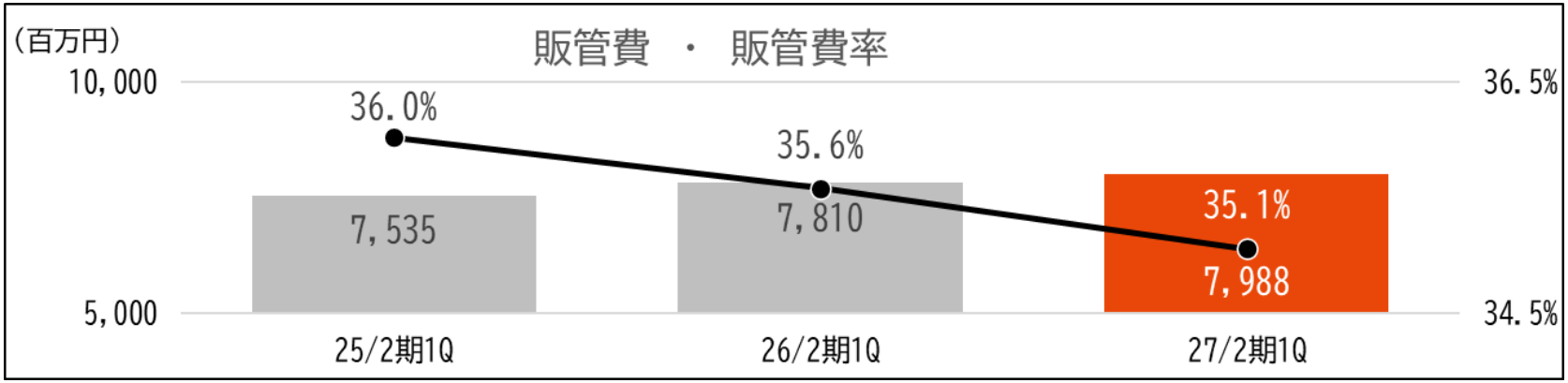


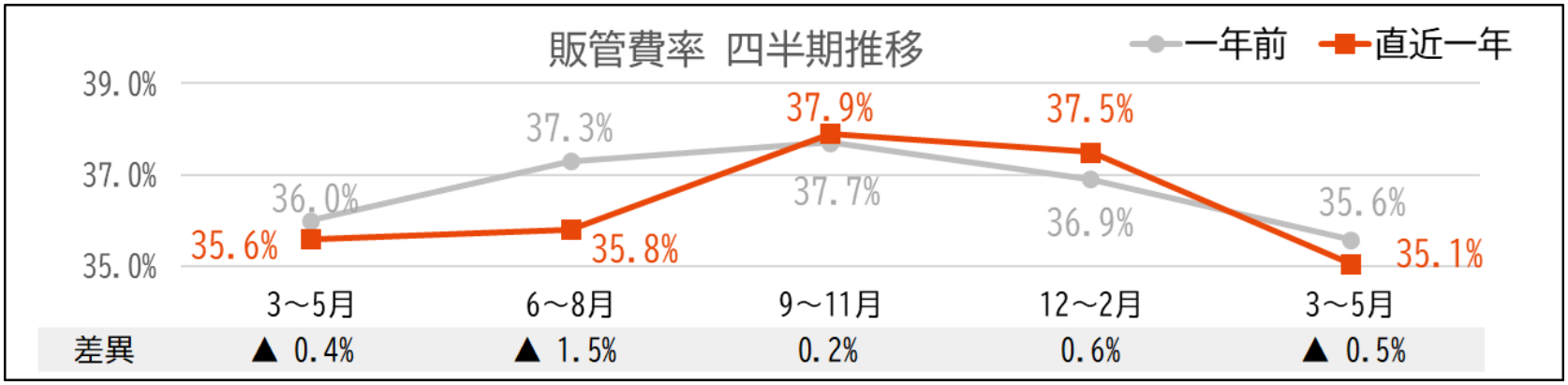


© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

販管費

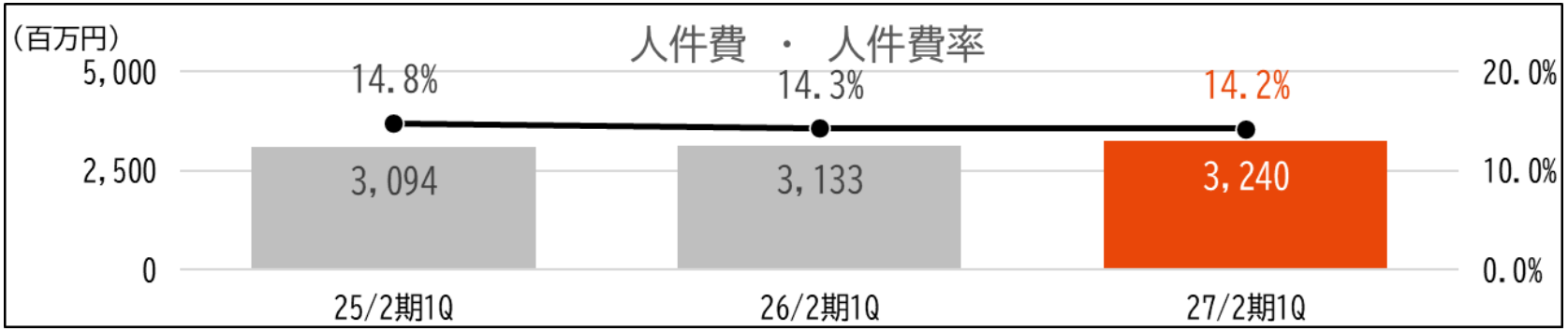
- 販管費：徹底した人時ｺﾝﾄﾛｰﾙによる雑給と外注人件費の抑制
- 販管費率：売上高の伸長に伴い、人件費率・地代家賃比率が減少
- 2026年2月期4Qで、什器入替を中心とした売場ﾒﾝﾃﾅﾝｽを実施

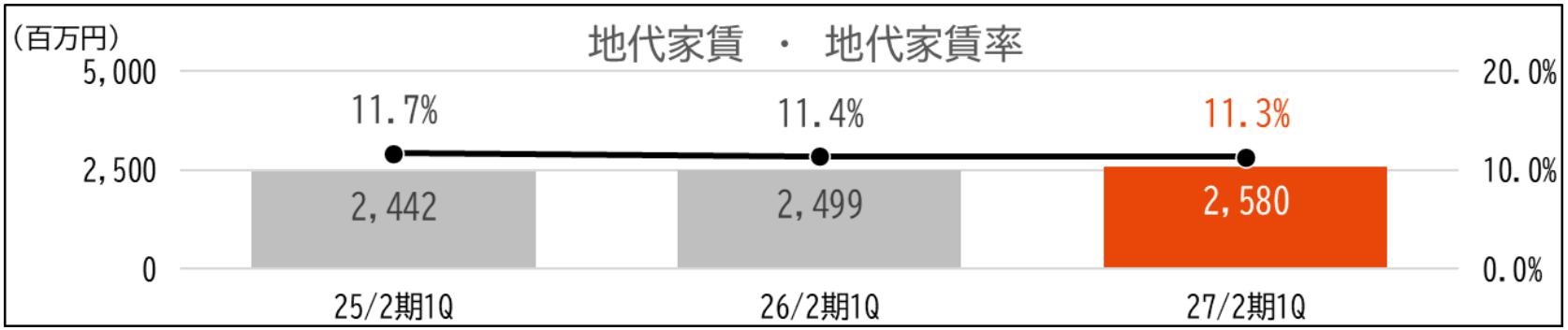


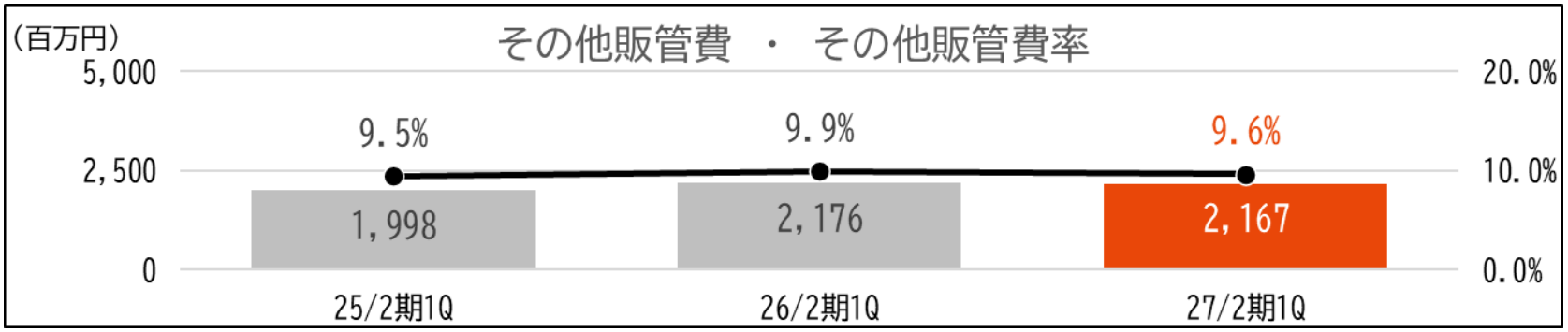


© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

販管費の内訳



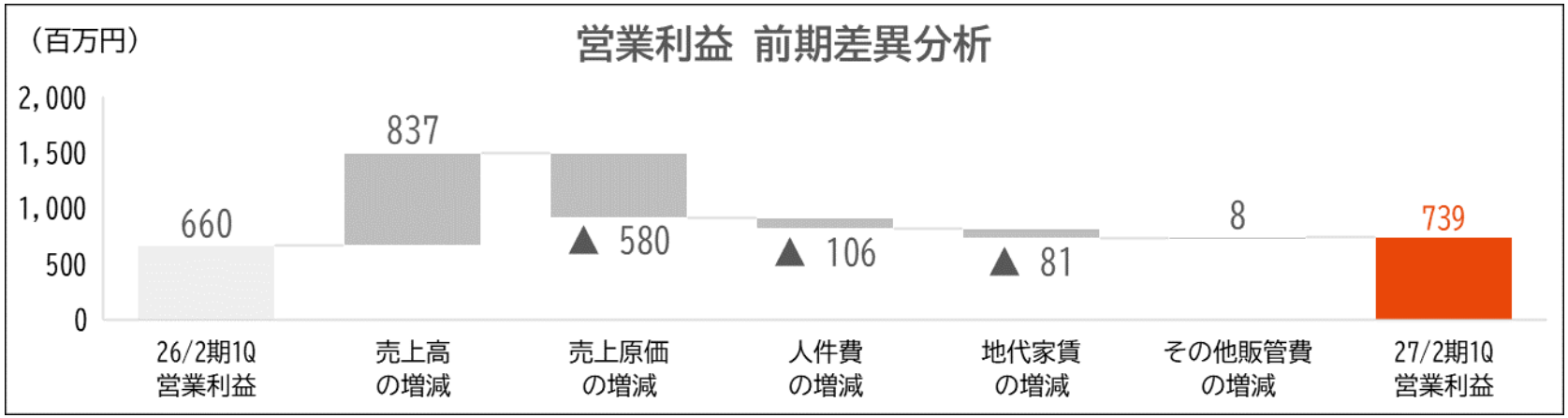




© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

営業利益(増益) 前期差異分析

- 売上総利益の増加が、販管費の増加を上回り、79百万円の増益
- その他販管費は、直営店の出店数が13減少したことに伴う出店費の抑制

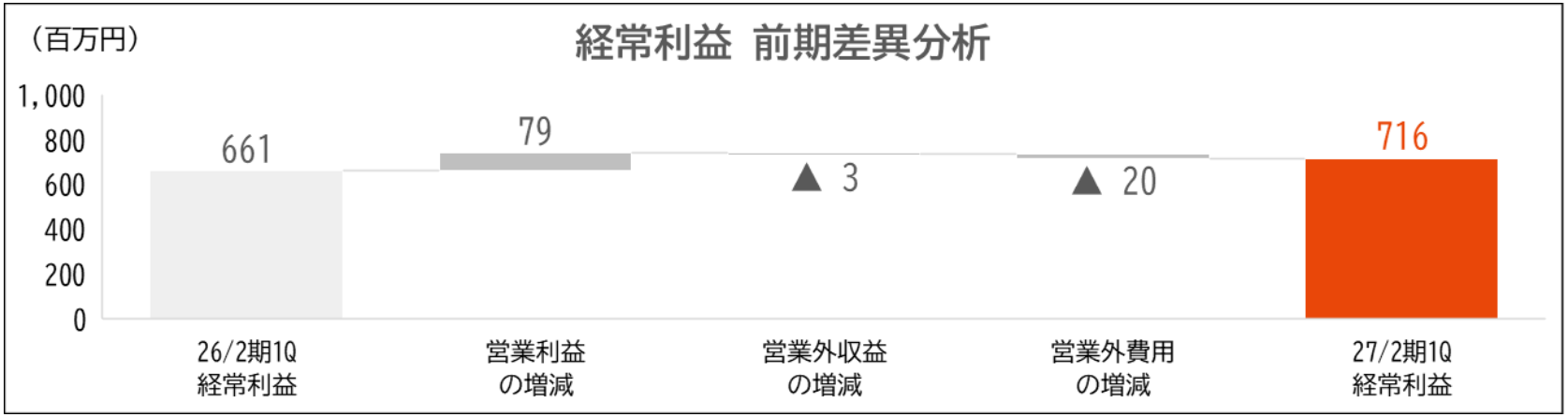


連結 (単位 ： 百万円)	当期1Q実績	前期1Q実績	前年同期比	前年同期差
売上高	22,789	21,951	103.8%	837
売上総利益	8,728	8,470	103.0%	257
営業利益	739	660	112.0%	79

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

経常利益(増益) 前期差異分析

- 営業利益の増加に伴い、経常利益も54百万円の増益
- 営業外費用は、電手決済にかかる手数料の見直しに伴い増加

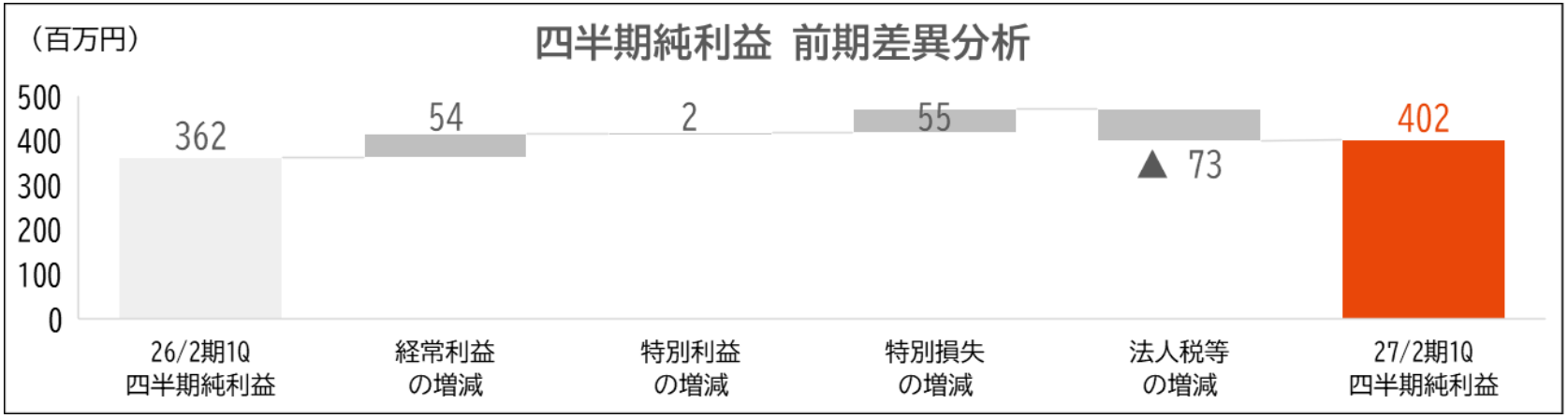


連結 （単位 ： 百万円）	当期1Q実績	前期1Q実績	前年同期比	前年同期差
売上高	22,789	21,951	103.8%	837
営業利益	739	660	112.0%	79
経常利益	716	661	108.3%	54

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

四半期純利益(増益) 前期差異分析

- 法人税等増加も、四半期純利益は40百万円の増益
- 特別損失は、減損損失と固定資産除却損の抑制により減少



連結 (単位 : 百万円)	当期1Q実績	前期1Q実績	前年同期比	前年同期差
売上高	22,789	21,951	103.8%	837
経常利益	716	661	108.3%	54
四半期純利益	402	362	111.1%	40

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

特別損失・法人税等の内訳

- 特別損失：減損損失を計上する店舗数が減少したことによる抑制
- 法人税等：税引前四半期純利益の増加により法人税等も増加

連結 （単位 ： 百万円）	当期1Q実績	前期1Q実績	前年同期比	前年同期差
特別損失	32	88	36.6%	▲ 55
・減損損失	12	67	19.0%	▲ 54
・固定資産除却損	19	20	95.1%	▲ 0
法人税等	284	211	134.9%	73
・法人税住民税 及び事業税	259	150	172.3%	108
・法人税等調整額	25	60	41.7%	▲ 35

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

2027年2月期の取り組み

「抜本的な構造改革」

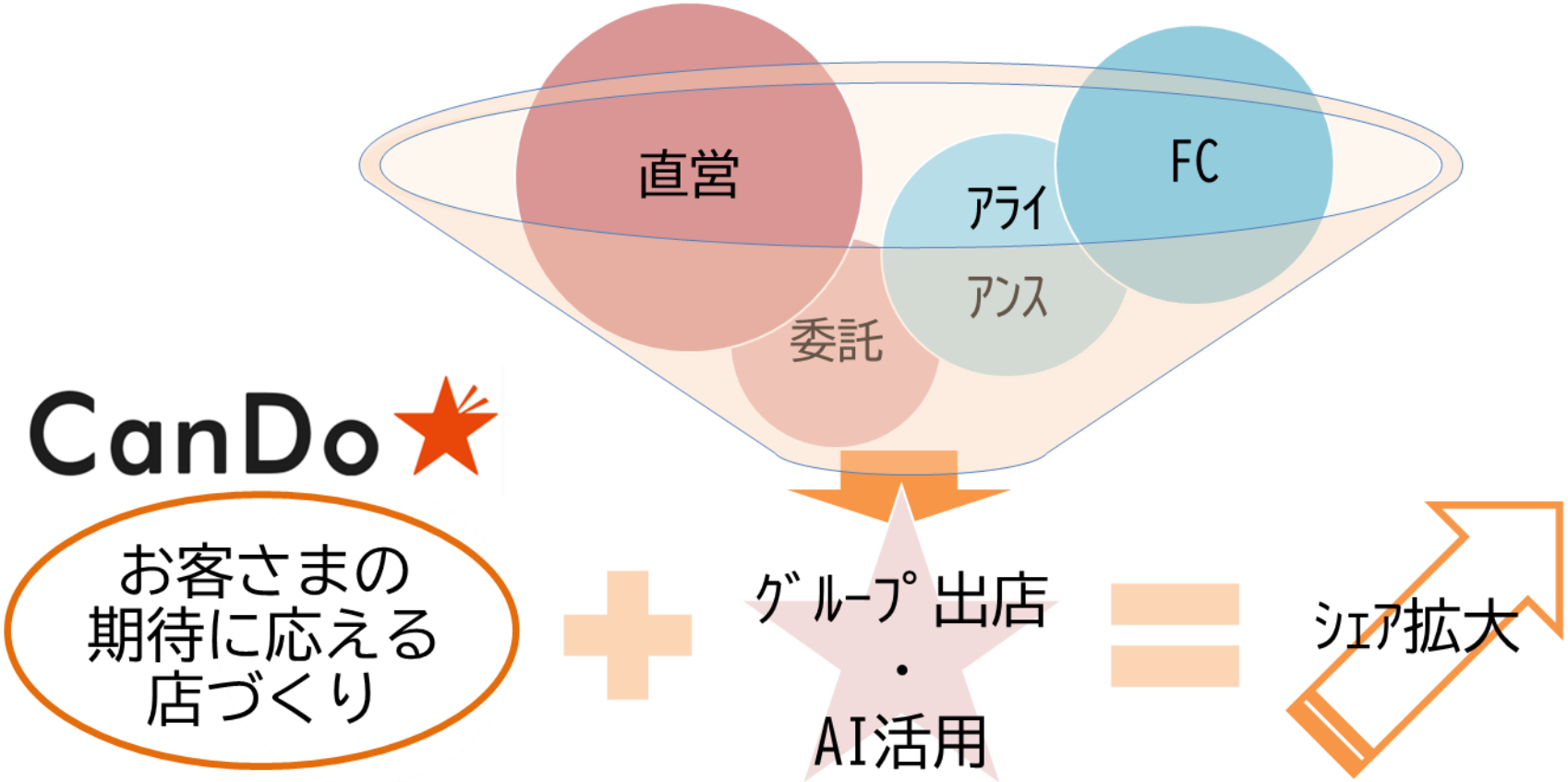
© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

2027年2月期の具体的取り組み：Ⅰ

『販路の拡大』

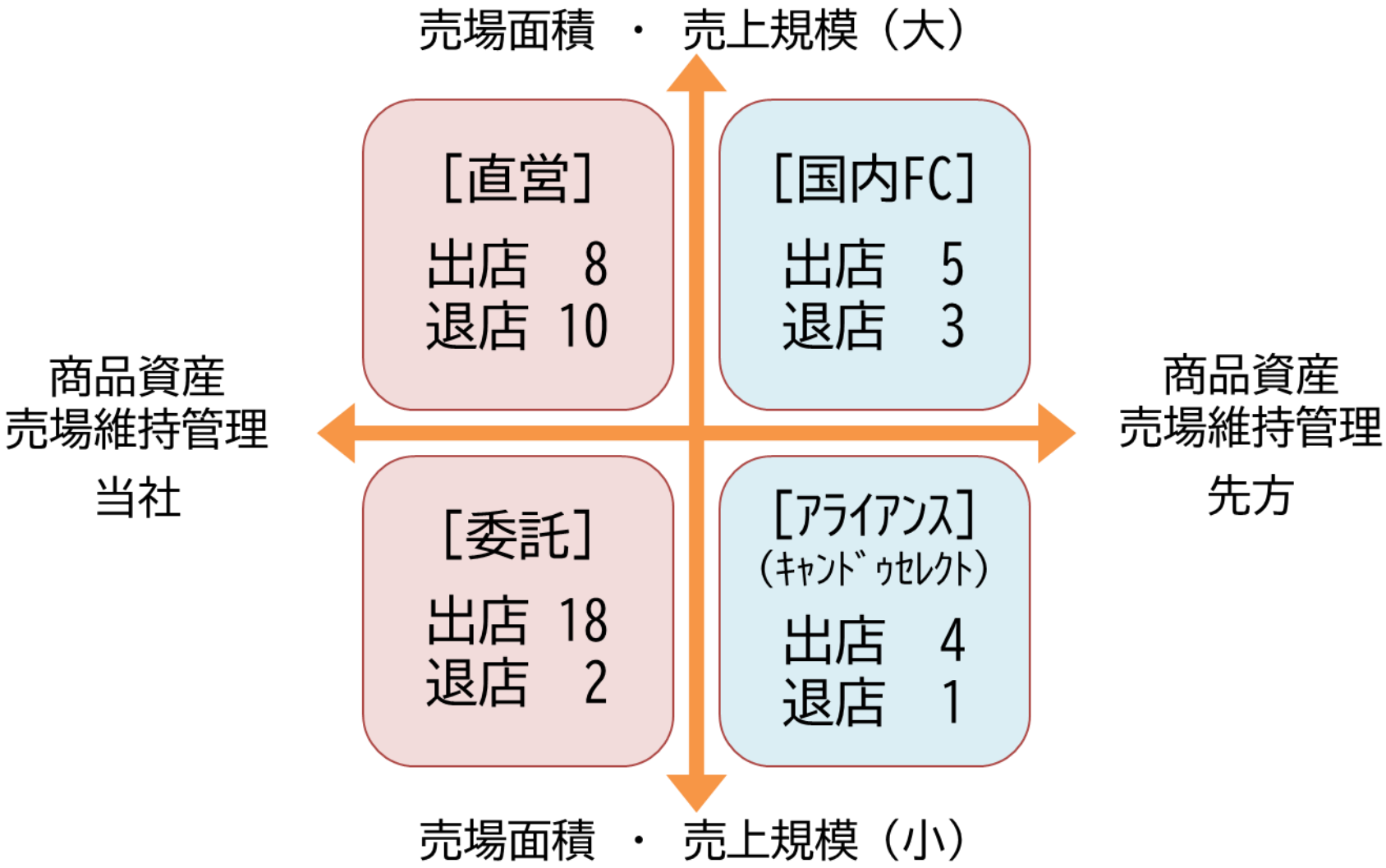
© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

お客さまからの期待に応える店づくりの追求と
ｸﾞﾙｰﾌﾟ出店を主軸にAIを活用した高効率な出店ﾓﾃﾞﾙの構築



© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

四業態別出店・退店実績(2027年2月期1Q)

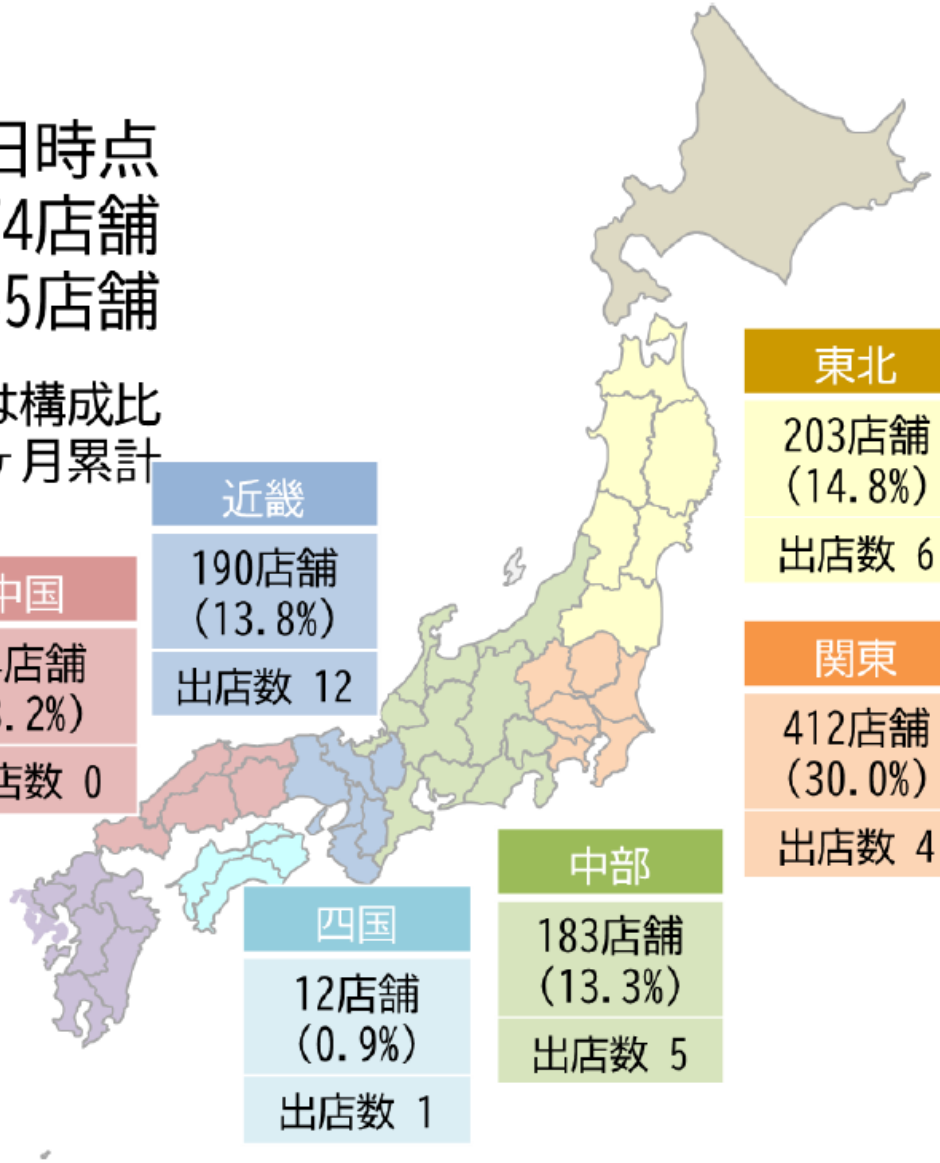


© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

地域別出店状況

2026年5月31日時点
1,374店舗
出店数 35店舗

（　）内は構成比
出店数は3ヶ月累計



北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外
151店舗	203店舗	412店舗	183店舗	190店舗	44店舗	12店舗	172店舗	7店舗
(11.0%)	(14.8%)	(30.0%)	(13.3%)	(13.8%)	(3.2%)	(0.9%)	(12.5%)	(0.5%)
出店数 6	出店数 6	出店数 4	出店数 5	出店数 12	出店数 0	出店数 1	出店数 1	出店数 0

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

イオンモール東久留米店
（東京都・2026年4月22日オープン・120坪）

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

2027年2月期の具体的取り組み：Ⅱ

『商品・ブランドの差別化』

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

商品企画方針

Ⅰ ラインロビング戦略の徹底による新規顧客拡大

ハンドメイドパーツ	ミニチュア	デザイン文具	アートグッズ

Ⅱ キャンドゥらしい「楽しい商品」の強化

ダイカットポーチ	ユニーク柄ソックス	デザイン手ぬぐい	ハート南京錠

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

新たな差別化の構築

100円商品と他価格帯商品によるMD-MIXの進化

イオングループのスケールとシナジーを活用した商品開発

AIを活用した需要予測の精緻化

売上高と効率性の両立による売上総利益の最大化

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

ｲｵﾝのﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄﾌﾞﾗﾝﾄﾞ「ﾄｯﾌﾟﾊﾞﾘｭ」の取り扱い開始

Can★Do

・2026年7月10日(金)から食品108品番を108円(税込)にて販売

・食品の品揃えを充実させることで、一層高まるお客さまの節約志向や安全・安心に対するご期待にお応え

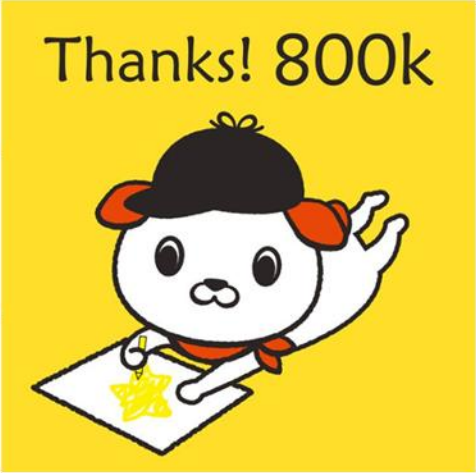
※ イオングループ施設・路面店を中心に直営店445店舗でのお取り扱い開始となります

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

Instagramによる「ｷｬﾝﾄﾞｩ」ﾌﾞﾗﾝﾄﾞの発信強化

Can★Do

- フォロワー数は、2026年5月現在、84万人超
- 国内企業ランキングは、96位(対象10,000社超)
- お洒落な画像による商品活用シーン提案



スティッチシリーズ

30周年
ポムポムプリン

Liccaシリーズ

シール帳

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

Xによる「ｷｬﾝﾄﾞｩ」ﾌﾞﾗﾝﾄﾞの発信強化

Can★Do

・イメージ訴求のInstagramに対し、情報量を優先するXですみ分け

・メディアで取り上げられた商品もリポスト

・推し活アイテムなどXユーザーに親和性の高い商品を紹介

ちいかわシリーズ

グルーミーシリーズ

チョコミントベアーシリーズ

デコパーツ

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

2027年2月期の具体的取り組み：Ⅲ

『企業価値の向上』

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

店舗運営のｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄによる生産性の向上

Can★Do

店舗運営方針：「省人運営の実行」と「本部業務AI化の推進」

店舗内物流の再設計	・品出しｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝの刷新による人時効率の向上と欠品率の低減 ・ﾗｲﾝﾅｯﾌﾟ管理と基本陳列方法の変更による商品補充頻度と欠品率の低減 ・小型活性化で店舗ﾎﾟﾃﾝｼｬﾙを引き出し
店舗運営ﾙｰﾙの見直し	・各種ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝを店舗ﾀｲﾌﾟごとに標準化し安定的なお買い物環境をお客さまに提供 ・標準人時設定を更新し、合理的な運営へ ・多店舗管理ﾂｰﾙを活用した施策実行力の引き上げによる店舗間格差是正

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

セルフレジ導入の加速による生産性の向上

・2026年2月期末時点導入完了店舗数 ： 79店舗
・2027年2月期1Q累計導入店舗数 ： 36店舗(通期計画160店舗)

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

人的資本への先行投資による生産性の向上

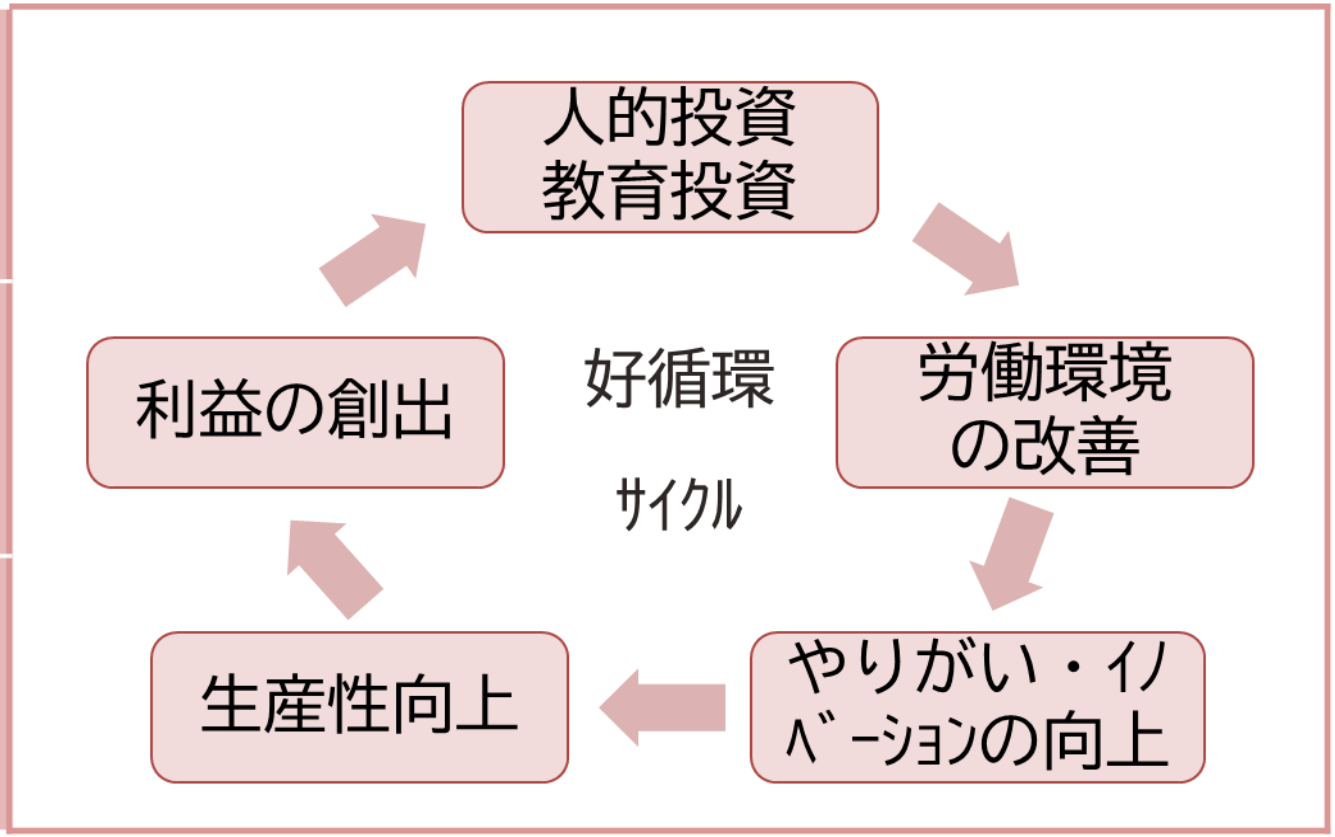
Can★Do

生産性を高めるための人的資本への先行投資の継続と徹底

賃金改定
（ｲｵﾝ水準）

教育投資
（ｲｵﾝﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑの活用）

新人事制度
（ｲｵﾝ事例を参照）



© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.

【　ご注意　】

本資料に掲載されている株式会社キャンドゥの現在の計画、見通し、戦略、認識、評価、想定等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社キャンドゥの経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、様々な重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えいただくようお願いいたします。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い申し上げます。

© CAN DO CO.,LTD. All rights reserved.